伯和西爾時報

發行所 伯和西爾時報社
電話 七〇六四・七
社長 Director 石井榮作 M Sameshima
購讀料 一ケ年 六十圓 半ケ年 三十圓
廣告 御照會は御返信大第

珈琲 サントス四級 十キロ 一ヵ月 十キロ 一一四〇〇
替 賀日 四六六五
對米 郷里送金 五八六〇
對英 一九七七〇 八〇〇五〇

# 英國最後唯一の支柱 米國參戰に躍起の工作

## 國際勞働局カナダへ移轉さる

### 米の勞働者煽つて 參戰熱促進の肚

米國經由カナダに向つた、右に關しジュネーブ政界消息筋では次の如き觀測を下してゐる

國際勞働局が現在米國の參加してゐる有力な國際的機關である點に鑑み、英國はこれを米國の參戰誘致に利用せんとするものでは無いかと見て居り、國際勞働局内で支配的立場にある英國人幹部が同局の米洲移轉に關するワイナント局長（米國人）の示唆を熱心に支持したのも、此の見地から見れば了解される所で、英國政府の意圖はカナダ移轉後の國際勞働局と最近英勞働省内に設立された國際勞働委員會との間に、緊密なる連絡を保ち、以て米國勞働階級に呼び掛け米國の參戰を誘導せんとするにあるものと見られる、尚は七日カナダに向け出發した國際勞働局幹部一行は大部分は英國人であり、その一部が佛人及びスイス人であつた

（ジュネーブ七日同盟）國際聯盟の事實的崩壞と共に其態度を注目されてゐた國際勞働局は、カナダに移轉してその事務を繼續する事になり、幹部約二十名は七日ジュネーブを出發

## 英帝國領 植民地經濟會議

### 印度總督が招集

【倫敦七日同盟】消息筋の情報によればリンリスゴー印度總督は來る十日ニュー・デリーにスエズ以東英帝國領經濟會議を招集するに決し、右會議には濠洲、ニュージランド、南アフリカ、印度、東アフリカ、マレイ及びその他の諸植民地から代表が出席するに決したと報ぜられる、然して右經濟會議招集は

【倫敦七日同盟】ロンドン七日發ロイター電によれば、アフリカにおける英領各地の對本國物資供給を組織化することであるが、第二義的には戰局の發展と共に英帝國領植民地の經濟的關係を益々強固たらしめんとするに在ると謂はれる、一方ナイロビからの（ケニヤ）報道によればインドの經濟會議に相呼應し東アフリカ英領植民地經濟會議も開催の豫定であると謂はれる

## 西原少將 空路歸任

【東京八日同盟】重要事務打合せのため東上中の佛印駐屯軍委員長西原少將は、八日午前羽田出發空路ハノイへ向つた

## 獨がタダで頂戴仕り候

### 佛國銀行迷路の大金庫そのまゝ

【同盟ニューヨーク特電】當地の信ずべき筋の洩らすところによればドイツはフランスの降服により、フランス銀行の保有せる十八億五千万ドルに上る金を獲得したものと見られる、このうち十二億五千万ドルは、以前よりフランス銀行の保有せるものであり六億ドルはベルギーよりの逃避金である、なほこの金はパリーのフランス銀行本店地下室の岩石で作られた迷路風の金庫に納められてゐたが、パリー陥落の際恐らく水浸しにされたものと謂はれ、もしかゝる場合はその金庫再開には數ヶ月を要するものと見られてゐる

金の保有量にかけて歐洲一を誇るパリーのフランス銀行本店の地下室の岩石で作られた迷路風の金庫に納められてゐた十八億五千万ドルの金塊がドイツの手に歸したといはれてゐるが、十八億五千万ドルといへば円に換算すると約七十九億円目方にして、四万七千貫といふ尨大な金塊となるわけで、電撃的なドイツ軍の進撃に追ひまくられパリー陥落近しと知りながら、なぜフランスは國家經濟の支柱ともいふべきこの莫大の金をおめ〳〵と敵に委せたのだらうか？あまりにも尨大な金のため持出しができなかつたのか？日本銀行大阪支店の話

「世界で最も多く金を持つてゐる國は何といつてもアメリカで世界の金の約七割、百九十億ドルを保有してゐますが、その次はフランスでした、フランスがなぜ大切な金をかくも多量にそのまゝ殘してゐたかといふことは、ドイツの電撃作戰が功を奏したことと、目方が重いのと、金目のものであるためなどで、さう簡單には運べないこと、および機中輸送量の驚況その他の危險のため持ち出せなかつたのでせう、ドイツは今日まで金を最も持たざる國で、外國との間に協定を結んで物々交換式な貿易をやつて來たのですが、こんどかくも莫大な量をドイツが持つやうになれば、ドイツが歐洲側制のものも、世界通貨金融制度にいかなる影響で臨むかゞ最も興味ある問題となるでせう

## 佛印輸血の路斷たれ

### 大デマ飛ばす重慶

#### 手段選ばず必死の逆宣傳

佛國政府は駐支大使館を通じて東京外交部に對し日本が佛印を攻撃する事あらば全力をあげて抗戰する事に決した旨を正式に回答したと報じ、當地支那新聞に此の電報を大々的に掲載せしめ、フランスは未だ援蔣政策を放棄せずとの宣傳に躍起となつてゐる

注視し、總ゆる機會を捉へて佛印當局は實質的には援蔣政策を繼續しつゝありとの逆宣傳に涙々として屠り、尚は東京駐佛印當局は實質的には援蔣政策を繼續しつゝありとの逆宣傳に涙々として屠り、尚は東京駐佛印大使胡國廷を通じて現在の佛印の中立的立場の變更には絶對同意し能はざる旨の申入れを行はしめ、援蔣行爲の繼續方を泣訴すると共に佛印當局に對しても万一佛印の現狀を變更するが如き事あらば中國は軍隊を佛印に派遣し、實力を以て妨害すべし、などゝ種々恫喝的申入れを行ひ頻りに佛印の中立性を强調し、以てその對内的效果を狙つてゐるが八日東京電報は

## 泣訴…同…喝

【上海八日同盟】援蔣政策放棄後の佛印の動きについて東京側は多大の關心を以て

## 重工業に重點置く

### 滿洲産業開發五ヶ年計畫

#### 諸懸案解決に多大の期待

【東京九日同盟】滿洲産業開發五ヶ年計畫に對しては、我財界も深甚なる關心を拂いて注目してゐるが、現在滿洲産業界の當面する諸種の懸案殊に人事を中心とする各特殊會社は活動の分野統合問題なども急速解決されるものとして多大の期待をかけてゐる、殊に滿洲に於ける事業會社は重工業の滿洲獨占形式の下に夫々の鑛石炭、飛行機、自動車などの重要産業については特殊會社法に依て獨占的な特殊會社を設立し、これに夫々下請會社を從屬せしめた部分と、その他の産業部門に於ては自由な會社設立を認め、たゞこれを資金的に統制すると部分とがあつたが此の後者には關係會社が可成り存在する他、特殊會社中にも物動重點主義下にはその存在に再檢討を加ふべきものがあるので今回これ等の關係會社に對しては整理合同を促進する外、特殊會社の機構に關しても修正を加へる等である、而してこれに伴なふ勞務配置については万全策を講ずるが、特殊會社の自體部に關しても相當の刷新異動が加へられるものと思はれる

## 停止中の蒙疆宛振替郵便再開始

【東京八日同盟】我が國から蒙疆方面宛代金振替郵便は去る十三日六月一日以降停止中であつたが、遞信省は暫定的便法を蒙疆側と協議した結果

## 蒙古政府 企劃統制委員會

張家口七日同盟」蒙古政府では、對内政策の遂行に當り、各部門に企劃立案事項の綜合調整を圖り、施策の有機的聯繫體形を確立すべく考究を進めてゐたが、この程企劃統制委員會を設置する事に決定した、同委員會は政務委員長の直轄機關とし資産資易、物資調整、勞働統制、鑛産物の四委員會を從屬せしめ委員長には關口總務部長をあげ各部門委員會長には關係各部の次長を充て、蒙疆の特殊性に基づき施策を圖る事になつた

## 松風號不時着 代つて信濃號飛ぶ

東京九日同盟」日泰定期航空の「松風號」がハノイで不時着したので臨時に使用する事になつたロックヒード信濃號は八日早朝再び佛印に越く我偵察機關委員長西原少將その他泰國宛の郵便多數を滿載して羽田飛行場を出發した

## 駐支英大使 近〳〵重慶行

【東京八日同盟】讀賣所報本月六日上海に歸還した英大使は、近〳〵重慶に赴き、同地に於て東京に於る新情勢に就き會談を遂げるものと見られてゐる

## 圓ブロック圏 貿易調整策協議

【東京八日同盟】日滿支三國關係當局では、二十日より東京に於て日滿支貿易計畫に關する會議を開催し、円ブロック三國間の貿易調整の具體的方式を確立することになつた

## 米經濟使節團 淺間丸で歸朝

【東京八日同盟】米國經濟使節團團長ジョンオレー〳〵氏一行は來る十六日横濱出帆の淺間丸で歸國する

## 滿洲でも ○○部隊が大活躍

### 治安部で撲滅策協議

【新京八日同盟】歐洲戰亂の擴大に伴ひ東亞に於ける歐洲交戰國○○部隊の活動が活潑化しつゝあるので、滿洲國治安部では移動警察の諸問題並に練成、勞働、思想對策を樹立する爲關東州廳を含めた日滿各機關移動關係者の參加を求め、八日午前治安部に同國移動關係者の參加を求め、八日午前治安部に同國移動關係者を開き滿洲國非承認國の特權濫用問題に對する對策を中心に共和經濟建設運動勞働警察結社團體の指導取締並過問題不逞分子對策等の指導事項に付協議懇談を重ねた

## 科學と技術を總動員

### 全日本科學技術團體聯合會結成

【東京八日同盟】科學及び技術に關する諸團體を統合し化學者、技術者を總動員して高度國防國家建設の支柱たらしめようと、全國百三十三科學團體を打つて一丸とする全日本科學技術團體聯合會が八日結成された、聯合會は長岡半太郎博士を理事長とし、總ゆる科學技術部門を網羅、各部門を十部會に分ち、各部より理事、常務員を選出、總横に連絡をとり、全科學技術の總力を結集し國防達成に邁進せんとするもので近く具體的實行方策を決定活潑な活動を開始するが、民間綜合科學院とも稱すべきこの聯合會の進路は各方面より期待されてゐる

## 日銀と滿洲中央銀行 一億圓クレヂット成立

【東京八日同盟】大藏省雜表【紐育七日同盟】七日のラン

【東京八日同盟】大藏省雜表日滿間の資金關係は、年内を通じて充分均衡がとれるやうに資金計畫の確立を見てゐるが、今回日本銀行と滿洲中央銀行との間に一億円のクレヂット契約が成立した、これによつて日滿間の資金關係は円滑に運行されるであらう

## 禁絶協定以外の物資 滇緬ルートで輸送開始

グーンAP電に依ればテン緬公路に依る對支物資の輸送は日英協定に依り、過般來全般的に停止されてゐたが今般統制物資細目交渉の終結と共に、六日より協定に規定された禁絶物資以外の貨物輸送が開始された、尚此の輸送に當るトラックは往復に必要なだけのガソリン積込を許されて居り

## 大打擊受けた 罐詰業者が對策樹立

【東京八日同盟】罐詰業は我が第三國向け輸出品中の重要部分を占めてゐるが、最近の國際情勢により深刻なる影響を受けてゐるので、業者側はこれが内地及び円ブロック向け轉換策を計つてゐる、依てこの轉換策を容易ならしむ可く中央物資統制協力會議では同問題討議の結果、左の結論を得たので今回關係當局に具申速かな實現方を要望することゝなつた

一、罐詰業の統制機構を整備し、新市場開拓、軍需用円ブロック向け輸出、戰時國民食糧等の用途別の生産輸出配給を計畫化すること

一、製造企畫並に輸出檢査の双方を兼ねる檢査制度を確立すべし

## 松岡外相 陛下に拜謁

【東京八日同盟】松岡外相は八日天皇陛下に謁見せつけられ、一般外交經過並に拓務行政に關し愛曲奏上、種々御下問に奉答した

## 官廳機構擴充案 一應法制局で再檢討

【東京八日同盟】行政事務の複雜化に伴ひ諸官廳に部局の新設擴充が計畫され、目内閣時代においても外務省の南洋局、拓務省の南方局等の新設昇格が決定してゐる、政府はこれ等官廳の新設擴充の中には必要止むを得ざるものと認め難きものも相當あるのに鑑み、この際關係官界新體制の確立と共に、これが採否を決することゝし、前内閣より引

## 羊毛增産計畫に呼應 華北緬羊改進會創立

【北京八日同盟】興亞院華北聯絡部では、最近日本の羊毛增産八ヶ年計畫に呼應、北支緬羊改良增産五ヶ年計畫を樹立したが、之が實行機關として九月上旬北緬羊改進會を創立することに決定した、右改進會は日本より種緬羊を輸入し北支四省に於る在來種の羊毛を改良すると共に、增殖施策を爲すに在り、本部は北支政務委員會より四十万円、東亞緬羊協會より二十万圓を支出し、差當り日本より一千頭の緬羊を購入、蒙疆の敵産を爲し、明年度より本格的な運用を行ふ筈である

## 反英熱益々昂まる 大阪始め各都市で擊滅決定

【東京八日同盟】英國政府の邦人不法逮捕事件に關する各地の反英熱は、益々昂り、大阪、神戸、名古屋、和歌山、尼ヶ崎、明石、各地の市會は七日それ〳〵協議會を開き、英國擊滅を決議した

## グリー米大使 松岡外相訪問

### 佛印問題を質問

【東京八日同盟】グリー駐日米國大使は七日松岡外相を訪問、佛印問題を巡り日佛兩國間に交渉が行はれてゐるが如き外國新聞報道につき質問したが、これに對し松岡外相は斯る新聞報道は極めて不正確である旨を答へた

## 「あばれ大名」

久我荘多郎

（百七十一）

### 吹上園騒亂（二ノ二）

こゝは、吹上園の一部、離庭にある數寄屋の一亭だ。名づけて白鶴亭。

初更ながら深沈とした部屋に、差向かつてゐるのは頼昭と德兵衛のたゞ二人。が、守護する者がないといふのは無い。隣室には、警護の侍が二三人。佐分利一學が控へてゐるのだ

頼昭は今宵、この白鶴亭へ招を受けられた。今夜は、こちらでお泊りだといふ

で、それと聞き傳へた德兵衛が、おのれに當られてゐる北庭の掛月庵を出て、御機嫌うかゞひに伺候したのだ

例の三郎殿の足についてゐた雁皮紙を手に入れてから、德兵衛、いとも上機嫌であるが、お殿さまは行末を考へて

隣室では、讃よりも早く佐分利一學、讃を上げて、讃へすべり出してゐた

そして、庭の木立の間を透かし見ながら、德兵衛へ答へることはしないで

「讃だッ——何者だ！」

と、怒鳴りつける

その間に、すはこそ！とばかり、警護に控へた面々はス、ス、スーッと頼昭の許へ

「殿——」

「お案じなく——」

と口々にいつて、すつくと立つて固く柄鐵を握つた一方で、一學

「何者だ。それへ來る奴？」

と、つゞけてゐる

すると、ザワッと、奥の方で樹木が搖れた。つゞいて、人の足音がする。——と思ふと、不意に姿を見せた一人の武士、六尺棒を握り込んで、眼眼になりながら、バラ〳〵と飛んで來た

「あつ、止まれ！」

だが、德兵衛は平氣、そんなことに驚れてゐるから、おのれの喋りたいだけ申上げるのだ

孤島の財寶さへこの手に握みましたなら、德兵衛が積年の望みも晴れ、お殿さまにもこの先はこれまでの幾層倍かお目新らしい品を御覧られまする」

と——そこまでいつた時、

「やッ、怪しい氣配！」

と、不意に隣室から、鋭い聲音が響いた

聲の主は、佐分利一學に違ひない

こちらは、蛇となる

燈けいの灯が、にはかにボウと煙つて、一抹の不安が燭をかすめ何となく空氣が濁ちた——

「なにッ。怪しい者だ！佐分利先生、どうしたのか？」

と、德兵衛が、頼昭の顔色をうかゞひながら、隣室へ問ひかけた時

「はッ」

「控へろ！　お殿さまがお在の場所だ」

「は、はッ」

居數者らしい六尺棒を持つた武士は、數寄屋にゐる人の姿を見てビックリしたやうに兩手をついた

「無禮なやつめ！」

一學は、叱り飛ばして

「今宵は、何人たりともこの亭へ近よることはならぬと、お達しが出てゐる筈ではないか」

「はッ、わたくしは、その庭番の者でございます」

「庭番？」

と、おうむ返しにしてから

「いよ〳〵もつて不埒おやアないか。警護すべき者自身がお庭間近を騒がすとは何事だ」

「恐れ入りました」

# 米・アラスカの防備強化
# 新に特別地帶設定

（華府七日同盟）ノックス海軍長官は七日記者團との會見に於て米國海軍はアラスカ及びその近海の防備強化をはかる爲め、第十三海軍區内に特別地帶を設定する事に決定、近く新司令官を任命する旨、發表した、又米國海軍當局の默英貿易問題については議會が適度を決定するまでは海軍としても意見の發表を差控へたいと語つた

# 熱風の沙漠を征く

## 三方よりぢり押しの進撃
## 伊軍ソマリランドを一睨み
## 東部アフリカの戰局俄然！急展開

【カイロ七日同盟】四日朝から開始されたイタリア軍の英領ソマリランド進撃によつて、アフリカの戰線には、俄然大規模の作戰が展開されるに至つたが、イタリア軍は三路より分進攻擊の作戰に出で、第一隊はオドエイナ、第二隊はハルゲイサ、第三隊はジルよりガラガラに向つて進擊しつゝあり、目指すところはアデン灣のベルベラ乃至ゼイラを占領して、英領ソマリランドの死命を制せんとするものと思はれる

この點より推して、イタリア軍の第一目標は、英領ソマリランドの南部線道路五本の制壓に在りと見られ、北方進擊部隊は佛領ソマリランドの國境線を押へてジブチ・アディスアベバ鐵道を制保し、中央進擊部隊はハルゲイサ、ベルベリ街道を目指し、南方部隊は伊領ソマリランド國境地方面防備行動に出るものと思はれる、これ等進擊し來たるイタリア軍に關し、七日英國軍部消息通は次のような見解を述べた

イタリア軍は相當強力な兵力を有してゐる模様だが、戰線は伊領の兵站線を進擊中の山岳方面は沙漠地帶であるために容からの攻擊に對しては頗る脆く、その上道路は惡く、兵站線殿は路能による他ない、加ふるに百二十度に達する酷暑を考慮に入れゝばイタリア軍の進軍は容易でないこれに反し英國のソマリランド守備隊はこれ等山岳地帶進軍のイタリア軍を容易に阻止することゝ思ふ

# 宿命の地今ぞ還る
## ローレンソ・マルケス　リユクサンブール　獨の民政下へ

【伯林七日同盟】ドイツ政府は今回ローレンソ・マルケス、リユクサンブールの三占領地域に對し、軍政を施すに決定、七日ヨーゼル・ビユルケル、ローベルト・ワグナー、グスタフ・ジモンの三氏を夫々三地方の行政長官に任命した

【倫敦七日同盟】當市に達した情報によれば、ソマリ戰線に集結されたイタリア軍は總數十五万五千で、内三万は白人部隊、殘余は土民兵であると謂はれる。伊領エチオピアに駐屯せるイタリア軍は其他に白人部隊一師團、土人部隊一師團、土人部隊一師團があり、英國近東軍司令部でもイタリア軍は北アフリカにおいて大規模の攻擊作戰に出る可能性があり、その場合このエチオピア部隊の他にリビア部隊が海岸線に沿つてアレキサンドリアに向け攻擊を開始するかも知れないと見てゐる

# 北アフリカ　伊軍にも大作戰？
## アレキサンドリアに殺到せん

【倫敦七日同盟】當市に達した情報によれば、ソマリ戰線に集結されたイタリア軍は總數十五万五千で、内三万は白人部隊、殘余は土民兵であると謂はれる。伊領エチオピア

# 伊軍疾風の進撃
## ゼイラ、ハルゲイサ陥落す

【東京發】東京灣臨海工業地帶計畫は過日内務省の土木會議で附議可決され、いよ〳〵東京灣に世界第一の臨海工場地帶が實現する運びとなつたこの計畫によると荒川放水路から千葉縣の養老川まで沿岸に防波堤を築造し、荒川及び中川放水路導水堤の先端は現在河口から四千五百メートルとし利根川放水路左岸迄水堤は現在海岸から三千五百メートル余を出つばらす、埋立總面積は七百万坪で、こんな例は何處にもなく、イタリーのベニスの裏のマルゼラ工場地帶が眼につくが、東京灣に比ぶれば子供見たいなもの、これが完成の暁は一万トン級の遠洋貨物船の横着けも自由となり、大工場地帶の將來は年産卅億円が豫約されてゐる、なほこの工場地帶の副産物、利根川放水路はパナマ運河以上の大工事である

# 東京灣岸に世界一
## 七百萬坪の臨海工場地帶

# 汎米諸國との協力は眞平
# カナダ強氣に出る
## マツケンジー首相下院で言明

【オツタワ七日同盟】カナダ首相マツケンジー・キング氏は七日の下院に於て、カナダは汎米同盟乃至對米相互援助條約を締結する意思無しと次の如く言明した

此の際カナダの汎米同盟參加は米國の默認を得たいとの意味であつたが、カナダは汎米同盟乃至對米相互援助條約締結案を議する事は徒らに英帝國の内部的分裂が惹起されるとして、加案又は對米相互援助條約締結案を議する事は徒らに英帝國の内部的分裂が惹起されるとして、政府は斯る提案を一切採り上げないであつて、從つて政府は斯るしたかの如く見られるだけである、

【カイロ七日同盟】英近東軍司令部發表

一、イタリア軍一部隊は五日何等の抵抗を受けず、英領ソマリランド西端の海港ゼイラに入つた

一、同日エチオピア國境に近いソマリランドの要衝ハルゲイサも戰車、重砲、飛行機を有する敵の强力部隊によつて占據された

我軍は戰車三台を擄獲せしめた敵に多大の損害を與へた後、後退した

一、六日朝に至りオドウエイナも敵に占據されたが、我がソマリランド驅逐部隊所屬裝甲車隊は再びバレスチナのハイファ港を空襲し來

Iniciadas em Budapest as conversações rumeno-hungaras.

# ルーマニア、ハンガリー兩國間
## 國境改訂會談始まる

【ブダペスト八日同盟】當市駐在ルーマニア大使ポシー氏はブカレスト市に於て本國政府と打合せの上、昨日當市に到着し、直ちにハンガリヤ

# 英の巨船擊沈
## 獨軍司令部發表戰果

【伯林七日同盟】獨軍司令部發表

一、ドイツ主力艦一隻は海上において三万トン級の英國貨物船一隻を撃沈した

一、獨逸戰機編隊はイングランド北部タインマウス飛行場並にイングランド西部チエスターのヴイツカースアームストロング航空機製造工場及びウエールズ南部スワンシーの軍需工場を爆撃した

# 東京爲替
【東京八日同盟】爲替は小ナル、正金二、郵十六の七二片十六の五、ノミナル

# 穀肥相場
【東京八日同盟】大豆一八一五、一六六〇、豆粕四五〇、小麥一七四、硫安三九四、フスマ五八八、五八八

首相バウロフレキ氏及び外相ステファン伯と會見、午後七時より約二時間に亘りハンガリヤ、ルーマニア間の國境問題につき協議をなした、其大要はハンガリヤとしては第一國際法に基き和平的に國境を協定し、第二、ベルグラードの休戰條約により相互に協議を進めること、第三、出來るだけルーマニア國の言論を尊重する方針であると

# 外務辭令
【東京八日同盟】外務辭令八日
大使館理事官、木本忠三
中華民國駐遣特命全權大使隨員を仰せ付けらる

# 戰時生活相談所
東京に新設された戰時生活相談所は、開設以來大繁昌で實績を擧げてゐるが、七月末までに取扱つた數が三百二十七件、その内中小商工業者の相談が全體の四十四%を占めてゐる次が大陸から歸つた勇士、土地家屋問題、農村問題などの順になつてゐる

# 超短波
## 奉祝祭典
紀元二千六百年奉祝の式典は、大正、昭和二代にかけての陛下御即位大礼の記念碑たる十一月十日、宮城二重橋前廣場で擧行されるが九日、首相官邸に紀元二千六百年奉祝會委員會を開催、此の盛儀に參列する人數、服裝などについて協議したが當日は文武百官、各地代表海外同胞代表など六万人參加に決定、尙は服裝については不敬に亘らぬやう簡素なものといふ事に決つた

# 廣野中將歸還
中華支戰線で輝々の武勲をたてた廣野太吉中將、樫岸、吉村各大佐は上海出帆の上海丸で九日長崎着、午後二時三十分、長崎發東上した

# 教務委員長負傷
北京大學教務委員長は、九日朝、大學門前で兇漢に襲撃され重傷を負つたので、直ちに同大學病院で手當を受けてゐる

# 武部長官　着滿
新任滿洲國總務長官武部六藏氏は、九日午前十一時四十二分新京に到着、午後二時思想塔に參拜後、梅津司令官、張總理を歷訪着任の挨拶をし、宮廷に伺候記帳した

# 都市對抗球
都市對抗野球三日目、第一回戰は引續き後樂園球場で開催
名古屋　八—五　太田
中山製鐵二—〇　京都
四日目の九日準々決勝を行つたが、大連對撫順戰は午後一時、撫順先攻で試合開始
大連　六—三　撫順
で大連の勝、八幡對川崎コロンビア戰は午後三時三十分開始
八幡　三—〇　川崎
で八幡の勝、明十日は京城對仙台、名古屋對大阪の二試合が行はれる

# 東京灣岸に世界一
## 七百萬坪の臨海工場地帶

# 英の巨船擊沈
## 獨軍司令部發表戰果

# 外務辭令
【東京八日同盟】外務辭令八日
大使館理事官、木本忠三
中華民國駐遣特命全權大使隨員を仰せ付けらる


一粒肝油　ハリバ

讓・住宅
寢室二、食堂、コジニヤ、テラス附格安にて賣りたし御照會は Rua Paracatu, 78 Parque Imperial (乘合自動車 Jabaquara)

讓店
盛業中のパステス店格安にて至急賣渡し詳細はルア・ダ・モッカ二五四一

貸間
寢室一室、台所一室、但お子供樣無き方、當方も子供無し、大原兄弟商會橋通り、アントニオ

CHA RIBEIRA VERDE

特別讀物
世界一流の家庭雜誌
主婦之友
中支戰線人戰死の跡を訪ねて
靖國の妻の戰蹟巡禮
主婦之友特派　吉川中佐・紺野中尉両未亡人
野戰病院・大嶽康子
七月號本日到着
ブラジルの皆樣に急告
皆樣お待ちかねの『主婦之友』七月號は支那事變三周年記念號で、只今到着いたしました。興亞の大道を邁進する祖國日本の姿は、『主婦之友』一冊のうへにもよく現れてをります。『主婦之友』は毎號到着しますと直ちに賣切れますから、どうぞ今すぐお近くの書店でお求めくださいませ。
當地書店一同
新連載小說　結婚指輪　小島政二郎
細川ガラシヤ夫人　吉川英治
重寶附錄　夏の健康料理と飲物百五十種の作方
この外感激讀物實用記事滿載!!
東京・神田　主婦之友社

賞讃！絶讃！感謝の嵐！
イー治療機
健康の鍵！貴下の痛みを消し熱を去り病疾を癒す
伯國發賣元　加藤商會　聖市ルアゾ・オンゼ・デアゴスト二八八　郵函四二二二〇　電話二・八九五三

3-6382　電話
お泊りお食事は安くてきれいな
アジア旅館へ
歸國手續き迅速に取扱ひます
聖市グローリア街二九八（テアトロ・サンパウロ前）

齒科　古澤
ブタンタン大通り中間、コチア道の側
エステヴチン・ロツペス街一七

山田齒科療院
聖市パロン・デ・グアラ街八九（中央メルカード際）

南米隨一として知られたる
本流家傳　名灸
磯谷鍼灸本院
368 郵函　市アリリヤ　ルアエレノ街三三一

防腐劑絕無　保證
銘酒　日日乃乃夢本

日伯齒科醫院
Av. Rangel pestana, 12-3, and. Salas 304, 305, 306, 307
Esquina do Largo da Sé
一般齒科　レントゲン科　ガスアルミア科　口腔外科
齒科醫學士　村上眞一郎
大阪齒科醫學士　林博之
Dr. S. A. Pereira
電話 二 NO 二九　自宅電話 七三二九

時報原稿用紙
十五字詰二十行、紙質上等、體裁優美、鮮明な書き好い原稿用紙です
百マイ　二ミル　豆判共
切手代用可

特價苗
蘋菓接木苗　二千本　單價　一$〇〇〇
梨苗（接木苗）三百本　單價　一$〇〇〇
無花果挿木苗　二千本　單價　一〇、五〇〇
其の他栗、柿、李苗多千有餘揚保理の爲め特價を以つて提供
御申込み八月二十迄
本多果樹園
【無代呈上】
櫻　壹千本（台部接木）
白ダリヤ　一千球
白百合　一千球
我等が國花櫻を植ゑて紀元二千六百年を記念致しませう。滿國の花と散つた英靈に捧げませう清純な心を以て
白百合とダリヤを。
荷造り及び實櫻一本十銭ダリヤ、百合一球一銭二百レース。御送金バーレボスタール。郵券代用一割增し
セントラル線　郵函三四
モヤ・デス・クルーセス
本多果樹園

砂糖の自給策
砂糖キビは何處でも作れます。然し自宅で砂糖を作るのは一寸難しい。此にはトピー式カンナ搾機でカンナ汁を作りカフエを作る時、此を入れれば砂糖の必要はない。カンナ汁を鍋で煮詰めればフツバドーラが出來ます。砂糖の代用品として古來伯國農家の使ふものです
家庭用カンナ搾り機
一號型　一時間二十立　十六キロ
重量
二號型　一時間三十立　三五〇錢
重量　一臺
一臺　五五〇錢
時報商事部
地方取次所　リンス　マリリア時報支社　サ・ブルデンテ

分讓又は貸地
小資本で獨立〕聖市郊外　蔬菜作り
收益確實な
▲位置　聖市近郊エメボイ、聖市より約三十キロ乘合自動車（約五十分、一日五回の便あり）
▲地區　面積一アルケール乃至三アルケール
▲分讓地　一アルケール當り二コント乃至二コント五百ミル
佛　借地料　一ケ年一アルケール二三ケ年賦六回拂
▲貸地　百ミルレース
▲適作　トマテ、バタタ、其の他果樹、蔬菜類
詳細は左記へ御照會下さい
海外興業株式會社　伯國支店
Caixa Postal, 3015
Praça da Sé 34, - S. Paulo

# 紀元二千六百年式典擧行

## 畏し兩陛下の行幸啓を仰ぎ奉る

## 參列者六萬人と決定

（東京九日同盟）今秋十一月長くも天皇、皇后兩陛下の行幸啓を仰ぎ奉り、盛大に擧行される紀元二千六百年式典及び奉祝會々場並に式殿の起工式は、八日午前十時半から宮城前廣場の式殿敷地で、富田内閣書記官長、佐々木奉祝會副會長、廣瀬大藏次官以下各省次官、橋本市助役、工事關係者等多數參列の下に齋主秋岡日枝神社宮司奉仕して嚴肅に擧行された

一億國民の感激をこめて擧行される紀元二千六百年式典は、八日首相官邸に於て開かれた内閣祝典委員會で、時の參列者六万人と決定、右の通八日午後二千六百年祝典事務局から發表された、參列者は大勲位國務大臣（前官禮遇）樞密顧問官、陸海軍大將、親任官及び同待遇、貴衆兩院議長、高等官總代、各種公益團體代表者並に植民地在留者總代等である

## 日の丸船隊の向ふを張り

## 米國新船建造に大童！

世界海運界の制覇態勢をとつて劃期的躍進をつゞけ、續々新造豪華船を繰り出し世界七洋上に活躍するわが"日の丸"艦隊の意氣は目覺ましいものであるが、これに起鳴を擧げたのが外ならぬヤンキーさん、ニッポン小癪なとばかりマッコーック・ライン會社では南米、北米を結ぶ大西洋に新造貨客船四隻を就航させることになり、目下大急ぎで造船中である、右は何れも一万八千噸級の豪華船で明年四月には全部就航の見込であると、傍別會社によりカルフォルニア、南米東海岸へ一万二千噸級新式汽船三隻を就航させるため建造中であり、勿論これらの船會社は政府より莫大の補助を受けてゐるものである、これら新造船就航の曉は大西洋上に物凄い日米海運競爭が演ぜられるわけである

## 第十一回明治神宮體育大會

## 繰り擴げられる青春繪卷

## けふから待望の海洋競技

（東京八日同盟）輝く二千六百年を奉祝する、第十一回明治神宮國民體育大會の壯觀を飾る夏季大會海洋競技は、愈々今日から三日間横濱海上を中心に開幕されるが、この海の盛典を明に八日朝、會長安井厚相以下役員選手代表等約百名は聖恩の旗を先頭に顯露を踏んで明治神宮に參拜、一同健闘を誓つた

## 全伯野球大會

## 聖市近郊豫選

## 會場變更

全伯野球大會聖市近郊豫選會は來る廿四、五の兩日中央線モチ市に於て開催される筈であつたが、都合によりカシンギ

## ゼツリオ大統領

## バナナル島に赴く

各都市語施設巡視の爲めゴヤス州に赴いたゼツリオ・ヴアルガス大統領は廿八日首府ゴヤニヤ市を出發、印度人の住む蠟地アラグワヤ河のバナナル島に行かれ

ロンドン將軍が暫く駐屯したハンモックの居つてゐる小屋で休息され

ブラジル中央高原開發の爲めトカンチンス、アラグワヤ河の就航、可能の有無を檢分された

# 惠まれざる外交家 (8)

南樹

（一）

ブラジル駐在初代の外交官に二人の三浦がある。一人は珍田初代公使に隨從して來た外交官補で彌五郎と云ひ、別にブラジル移民に關係のない人である、もう一人の三浦は明治三十八年スペインから轉任して來た人で荒次郎と稱し二等通譯官（後一等通譯官となる）であつた。杉村公使は移民契約のトップを切つたが契約をしたのは内田定槌公使時代であつた三浦通譯官は二代の公使を通じて移民問題の表裏内外共に關係し其努力に俟たないものがなかつた。かうした點から云へば、彼は對伯移民の第一人者で、其勞或は功は杉村公使以上であつたと云ふことも出來る。杉村公使なしにブラジル移民があの時代に生れなかつたと同時に彼なしにも淋して今日を爲し得なかつたらう。

水野龍氏と私が明治三十九年四月パトロポリスに着いた時公使館には館員として公使の外三浦通譯官がゐるだけに過きなかつた。堀口書記官は洋裝を持つて鼻眼鏡をかけるだけに多少「俺が」と云ふ點があるが、三浦通譯官にはさうした氣分は全然認められなかつた。

一体身體の肥滿した人は餘り身のまわりなどに無頓着なものであるが、三浦通譯官は頭髮にもロウショを絶やさなかつたし、レンソウには乾度香水のかほりがしてゐた。余り多くもない髯をきちつと讀いた樣に上にはねて洋服を着た姿も瀟爽として寸分の隙もないと云ふ風であつた。而かも彼は極めてフランシュな、デモクラシーな外交官であつた彼は私達と聖州珈琲圓地方を巡視した。聖市に於て州政府と當局との交渉には水野龍氏の相談役であり、通譯であつた明治四十年移民契約の場合も聖市に來て水野氏と州政府との間に立つて斡旋努力した私が移民收容所に働く樣になつてから、彼は移民問題で屢々サンパウロ市へ通つて來た。其度に何時も私に電報を打つてよこした、構成家族の問題にからんで移民輸送が契約期限に間に合はないと云ふ時で あつた。ホテルに私が訪問すると彼は頻りに机に向つて電報を書いてゐた。さうしてそれを私に見せた。移民輸送期限を實行しないと契約が破棄される恐れがあると云ふ意味のことが書いてある。

「交渉がむづかしいんですか？」

「なアにかう云つてやらんと日本の方がぐづ〳〵して何時まで經つても埒があかんからね。一と先づかう云ふ風に打つて置いて、次に漸く承諾させたことを言つてやるんだ。」

と云つた。彼のかうした苦心を知るものが少くない。單獨出線ぎ移民主義に終始して來た態のさめない日本の官民と、それに迎從する内田公使との間に立つて、彼は一と通りならぬ惱みがあつた。

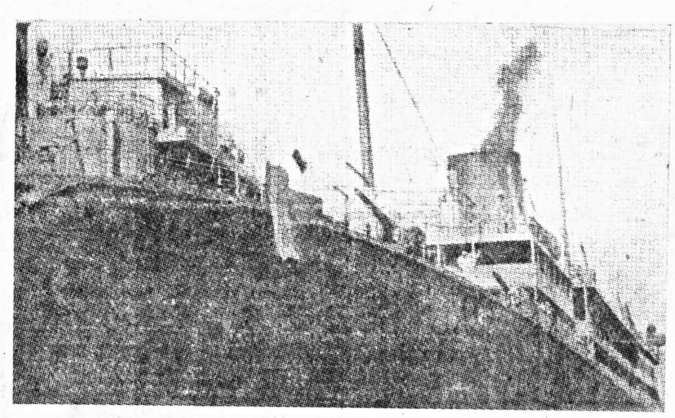
明治四十一年愈々七百八十名の移民を乘せて笠丸がサントスに着いた。其出迎へから配耕後の視察、紛擾の解決彼は恰も机の引出しの樣に時としては余り必要でない樣な場合にまでペトロポリスから引き出された。彼は大膽なうちに繊の如き繊星さがあつたサン・マルチンニヨ農園紛擾の時であつた。

支配人からストライキを起した連中を解約したが、彼等は何處までもサン・マルチンニヨ耕地を離れないと頑張つて肯かなかつた。そこで農園側ではホルサを以て迫ひ拂ふと云ふことになり、六人の兵士數十人の人夫等がそれ〴〵武器などを取つてコロニヤの前面に進列し、威しではあつたが若し何うしても農園から去らずとせば、發砲すると云ふ姿勢を示したが、此の前後に執つた三浦通譯官の態度は實に見上げたものであつた。特に最後のドタン場に飛島の姫く私達を離れてコロニヤに入り流石に頑强なサタマ男子を軟化せしめ、銃令威しにもせよ、發砲するが如き不祥事に至らずしてすんだ。此の事件は後に農園紛擾の項に精記する

かうした事件は獨りサン。マルチンニヨに止まらない。ゾーモンも カナンも皆ごた〳〵した。調解と調停と調り

だらけの名難な一回移民を先づ〳〵あの程度に收拾し得たのは一に彼の姫才なき デモクラシー的態度と、勞苦を勞苦とせざる世話好な性格が成し遂げたものと云ふべきである

ブラジル移民問題で實吏のうち誰れが一番苦勞したかと問ふ人があるならば、私は何時（寫眞は三浦荒次郎氏）



## 嘘か？ほんとか？

## 英假裝巡洋艦アルカンタラ號

## ヴイクトリア沖で海戰說

七日ヴイクトリア來電としてア・ノイテ紙の報ずる所によると

六日午後八時頃、エスピリット・サント州のヴイクトリア港沖合で盛んに砲聲が聞えた多分海戰が行はれたものと見られる

又同港へ入港した内國近海航路アラングワ號船長は本船は航行中海戰を目撃した、その一方は先日リオで修繕後出帆した英假裝巡洋艦アルカンタラ號であらうと推定される

と話つた、恐らく同船が獨逸騙逐艦と砲火を交へたものであらうとの噂が傳されてゐる、それにつきリオより、エスピリット・サント州執政官にヴイクトリア港警監督長官へ事實を照會したが、今の所詳細不明である（寫眞はアルカンタラ號）

# 山伐中の奇禍 二題

## 大木の下敷となつて慘死

ソロ線プ・ウエンセスラウ驛ラゴアセッカ區、山田忠右エ門氏はこの程カマラーダを引連れ自己所有地の山伐り中過つて倒れた木に胸部腹部を打たれ、プルデンテ内田醫院にて手當てしたるも効ひなく絶命した、妻女三十五才は目下姙娠六ケ月の身重の上、十五才を頭に七人の嬰子あり途方に暮れてゐる。又同所の近く青中合せのロッテにゐる坪内氏（二十八）は矢張り山伐り中大木の下敷きとなつて頭部を粉碎され即死した、若き細君は幼兒二人に姙娠五ケ月のお腹を抱へ悲嘆の涙に暮れてゐる

◇　◇　◇

十七日發コチア產組聖西聯合青年會へ、御主將會議は廿三日午後七時よりコチア產組會館で開かれる

聖西聯合青年會球技會で聖西聯合青年會主催の下に擧行されることになつた、試合方法はトーナメント、申込は來る

## 墓場の用意もあるといふ

## モンテカルロの賭博場へ

## 又候開帳

モナコ國主が一世一代の智慧を絞つた事旬、國を富ませ外貨を誘入するには賭博場を開くより途なしと、世界一のカジノを設け、日に夜に世界中の金持を吸ひ寄せたモンテカルロも、歐洲戰火の飛沫を浴びて一齊に閉鎖してゐたが、此の程又候開帳した、金の使ひ道に困つた大金持や

一獲千金を夢見て集まる賭博好きがその日〳〵の運をロレッタの目の動きに賭けるモンテカルロのカジノには、寶屋もあれば、拔き差しならぬ金をスッテ仕舞ひ貧乏も無く遂に絶望まで自殺した者の爲めには墓場の用意もあるといふ至れり盡せりの接待ぶりだと

戰爭のため時計類の大不足の機に乘じ、精工舍製時計特約は先便で着荷の分は忽ち賣り切れ、その後の注文殺到に主任の亀井さん大慌てだつたが去る二日入港のリオ丸で大量着いたさうです

◇

北米では國民皆兵—義務兵役が問題となつてゐる折柄メキシコでは一足お先に國民義務兵役法案が下院を通過した

◇

モジ・ダス・クルーゼス町の大通りリオーサンパウロ街道のアスファルト工事此の程完成九月一日の同市記念日に落成式を擧行すると

西谷農會のエピオス、ハリバ

◇

聖市大學聖市實驗醫學部へ今度日本から專門員が來る、從來の所では明年は獨隱を感じてゐたので同ビルの十五階を全部借り切り來る十月朔日越すことになつた、お客や記者連の詰り場も準備！

◇

聖市羽瀬商店では、從來の安物主義を排し精工舍の代表的優秀品を取寄せたが外人間にも時計の本場スイスに負けぬ優秀品だと好評嘖々

◇

ノロ線リンス市の木村綾威雄君は去る一日からバザールを開店、名もエスポルテリネセといひ、運動具の外に玩具小間物類といろ〳〵商ふさうですからよろしく

◇

日正午ホテル・テルミネスで午餐會を催すが、席上ソアレス・デ・メーロ博士から"最新の日本"と題し日本の觀察談をされる由

◇

## 墓場の用意もあるといふ

## モンテカルロの賭博場へ

## けふ市立劇場へ集るファンの耳

## 若者ばかりの交響樂

特望のレオポルド・ストコウスキー樂團の第一回演奏會は愈々今晩九時からムニシパル劇場で公開される事になつた同氏は過日來聖したトスカニニュ氏と並稱せられる名樂長で、此のオール・アメリカン・ユース・オーケストラは應募者一万五千人の内から演技の優秀な青年男女（十八才より廿五才）百〇九名を選拔したものである、演奏曲目は今の所未定だがバッハ、ベートーベン、ワグネル、ブラームス及びミグノンものを演奏するらしい（寫眞はレオポルドストコウスキー氏とそのオーケストラ）

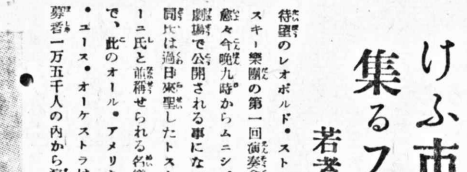
## 出港停止命令

【東京九日發】大統領令を以て出港停止命令を發した筈め、北米の港は非常な混雜を呈してゐるが紐育港だけでもノルマンディー號（佛國）クイーン メリー號（英國）の豪華船以下五十隻が立往生してゐる

## 伯國の砂糖

## 一万四千袋

過日伯國赤十字社から英國赤十字社へ送つた砂糖一万四十袋が無事に着いたと



## 葬儀車が川に落ち

## 佛さん大怪我！

郊外某所で暮色迫く迫つた頃、棺を乘せてしめやかに除行中の靈儀車が橋を滾らんとした途端、アツトいふ間に河中に顚落し運轉手は勿論、汚してはならぬ佛の死人まで大怪我をしたが、これは修理中の橋に赤信號がなかつた爲に起きた出來事

## 化出けるてそ

つい先日、聖市


◎とてもヨクキク
◎とてもノミヨイ

一粒肝油

ハリバ

ハリバ服む子は病氣を知らぬ

各地有名藥局、商店に有り

Dr. Alarico Franco Caiuby
ADVOGADO E
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO
Escritorio: R. José Bonifacio, 233
3.o and. salas 310/312 - Tel. 2-1137
C. P. 1124 São Paulo

法律顧問　岸本次男
法律一般譯
公証譯人　岸本次男
法律事務所
アラリコ・フランコ・カユビー
事務所　聖市ボニフアシオ街二三三番
三階三一〇—三一二號室
郵國一一二四　電話二一一三七

バール
レストランテ
AO PINGUIM
Av. S. João, 128 - R. Anhangabaú, 36
酒は
ペンギン井
ルーヤシルメンコ・ソフモルア
軒三
時一らか時七夜はフトスケーオ
も間書は日休曜日
電話 4-5507　電話4-2626

CASA HAMAOKA
Rua Carlos Garcia, 103
C. Postal, 993. Tel. 2-7581
S. Paulo
見落す勿れ!!!
安價で効果百%　棉ヌカ新入荷
肥料、農具、農藥品
内外種子
農家必要品なら
何んでも
信用出來る
濱岡商店へ

一軒一册
「子供の園」！
子のあるなしにかゝわらず。
それは一目見たら肯けます。


## 社告

謹啓應々御隆昌之段奉賀候、陳者當社外交員及支社員が常駐各地方に巡回致し居る事は既に御承知の通りに有之候處最近當社は是等とは別に購讀者各位御拂込懇請狀を發送致し居り其の當或は出先社員と面復再請の場合無きにあらずと思料せられ恐縮に存居候次第に候へ共右は出先社員と本社間の通信連絡上延滯若しくは行違ひの結果に外ならずして之は決して故意に出でたるものには無之に付此儀重々御諒察の上萬一上に申述べ斯かる場合有之候節は何卒小生の御先は右謹め御鍵迄

敬具

購讀者各位殿

伯剌西爾時報社

## 縮寫鏡

### "メザシ"で靴を釣る

◇……◇

大阪商船の○○丸の司厨長某氏、A●—の原ドクターと常盤ホテルの石原オヤヂへ「メザシ」二束を贈つた

◇……◇

メザシを買つて買んだ御人は、メザシに添へてあつた手紙を見た途端にダアー

◇……◇

「日本は非常時でも、さすがは魚の國、メザシは余る程ありますが、皮革制限で靴のいゝのが思ふ樣に買へません、ブラジルは牛皮の國、さぞかしいゝ靴がある筈と思ひます、申兼ねますが來る○○日サントスへ入港しますから其の時二足ばかり持つて來て下さい」

◇……◇

メザシの手前買つてやらずばなるまいと、この所御人口惜しがつたり感心したり

「さゝがに村田大臣の見分だけの事はある、海洋人は狙らく世界人たれ"の敎へを守つて一奴實に頭がいゝ」

誰の前でも直ちに大聲で「三浦荒次郎だ」と答ふるに躊躇しない。

（寫眞は三浦荒次郎氏）

△

ノロ線リンス市の木村綾威雄君は去る一日からバザールを開店、名もエスポルテリネセといひ、運動具の外に玩具小間物類といろ〳〵商ふさうですからよろしく

Redação - Rua Fagundes, 190
Telephone 7-4670
Caixa Postal H
Director M. Samesima

# NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno .... 60$000
Semestre . 30$000
Numero de dia ... 300 reis
Gerente S. Kurojshi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII . S Paulo, — SEXTA FEIRA 9 de AGOSTO de 1940 DIARIO No.2253

# Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

## Iniciadas em Budapest as conversações rumeno-hungaras

BUDAPEST, 7 (Domie) — O vespertino de Budapest «Magyar Orszag» informa que o embaixador da Rumania em Roma, sr. Bossy, depois de findas as conversações em Bucarest, chegará a esta capital ainda hoje, para entrar em contáto com o governo hungaro. Esta noticia, comtudo não foi confirmada pelos circulos oficiais hungaros.

O mesmo jornal resume o ponto de vista hungaro com referencia ao problema magiar-rumeno, da seguinte forma: «1.º — Por ter deixado de existir o Tratado de Paz do Trianon é impossivel empregá-lo, como base juridica; 2º — Como concessão máxima, poderia acceitar-se, como ponto de partida das negociações, o Tratado de Armisticio de Belgrado (de igual opinião é o jornal oficial «Pester Lloyd»); 3.º — A respeito da campanha da imprensa rumena deve-se dizer que o governo daquele país ajustar-se-á aos principios de Salzburgo ou os desprezará, caso em que assumirá todo o risco consequente de tal atitude.

Se a Hungria esperou durante 22 anos, poderá esperar alguns dias mais pela conclusão do assunto, afinal a Transilvania. Uma coisa é certa, porém: em qual quer caso a Hungria resolverá o problema com o sr. Bossy ou com o sr. Maniu-Cete. A Hungria não tem motivos para mostrar-se inquieta, antes o desmoronamento da politica interior da Rumania. Nenhum jornal poderá modificar o facto de que existem 2 milhões de hungaros na Transilvania.

REUNIU-SE EXTRAORDINARIAMENTE O GABINETE HUNGARO

BUDAPEST, 7 (Domei) — As 19 horas de hoje efectuou-se a primeira entrevista oficial hungaro-rumena sobre a revisão de fronteiras.

Na presença do ministro do Exterior, conde Stephan Czaky, o primeiro ministro hungaro, Paulo Teleki, recebeu o enviado especial do governo rumeno, ministro Bossy, que veiu entabolar negociações preliminares.

O enviado especial rumeno chegou á tarde e a sua vinda provocou a reunião extraordinaria do Conselho de Ministros, que se inaugurou ás 17 horas. O Conselho ocupou-se da chegada do enviado Bossy e a sessão foi levantada duas horas depois. Depois de terminada a entrevista com o sr. Bossy, o gabinete voltou a se reunir e o conde Teleki informou seus colégas sobre a missão do representante de Bucarest.

## A Italia e o ataque ás Ilhas Britannicas

Noticias procedentes de Roma e segundo as quaes a Italia prepara-se para uma guerra prolongada indicam que as potencias do «eixo» perderam as esperanças de alcançar uma victoria fulminante neste verão.

Os commentadores italianos dizem que as forças peninsulares projectam invadir no proximo anno a Palestina e asseguram que as operações militares italianas na Africa não começarão em grande escala emquanto não se tornar mais favoravel o clima naquellas latitudes.

Assim prepara o sr. Mussolini o espirito italiano para a manutenção do actual estado de coisas, em que as actividades se desenvolvem em menor escala e sem nenhuma importancia decisiva, sendo relegado o golpe combinado italo-allemão, contra as Ilhas Britânicas que havia sido marcado para antes do primeiro anniversario da presente guerra européa.

De Berlim tambem chegam versões sobre a esupeação do povo allemão diante dessa tendencia de paralysação da luta. Os lideres allemães vêem-se obrigados, gradualmente a arrastar a curiosidade de seus partidarios, á medida que a luta se aproxima de seu segundo anno.

Isto poderia levar o chanceler Hitler a uma tentativa de invação das Ilhas Britannicas, antes que as condições atmosphericas de ordinario reinantes em Setembro concorressem com novas difficuldades para o temerario transporte de um exercito através do Canal da Mancha e o Mar do Norte.

Todas as regras da estrategia militar estão contra o bom exito desta empresa, agora que o povo britannico teve tempo bastante para consolidar as suas defesas; mas o sr. Hitler confia em sua boa estrella, como o vem revelando desde que, fazendo ouvido de mercador aos conselhos de seus peritos militares, ordenou a invasão da Rhenania, ao tomar as redéas do poder.

A se julgar pelos successivos adiamentos que soffreu o plano da invasão, parece ser que o alto commando allemão teria feito prevalecer seu morigerado criterio.

Entretanto o sr. Hitler tem demonstrado deixar-se levar pelo seu temperamento impulsivo, motivo pelo qual não se poderia afastar a possibilidade de que a qualquer momento desse a ordem de iniciar a invasão. Tendo em conta esse factor, o primeiro ministro britannico, sr. Winston Churchill, advertiu recentemente o seu povo de que não deve acreditar afastado o perigo de uma tentativa de invasão.

Se pretendesse o criterio militar logico, teria de se realisar agora a premeditada invasão, embora somente assim fosse em virtude dos perigos que as tempestades do outono trazem para as communicações allemans através do Canal da Mancha, ainda que tal empresa tivesse a garantia de exito em suas etapas preliminares.

Com isto, se o sr. Hitler não acceitar o que diz a logica e demonstrar que conta mais em sua boa estrella que os conselheiros militares deveria então tomar enviar suas hostes para as Ilhas Britannicas, fiel á sua promessa de anniquilar o inimigo que não quiz acceitar suas suggestões de paz. E esse o factor incerto que provoca as vacilações na opinião publica de um lado para o outro. O reconhecimento tacito de que a guerra se prolongará pelo menos até o proximo anno, parece dar a entender que o sr. Mussolini figura entre aquelles que aconselham cautela ao sr. Hitler em seus propositos de invasão da Gran Bretanha. O malogro da empresa teria repercussões immediatas na Italia. Ha muitos cidadãos italianos que olham com receio o futuro, em virtude da maneira como o «Reich» está ciando os accôrdos e demais arranjos nos Balkans.

Um revés allemão em seus esforços para invadir as Ilhas Britannicas faria, tambem sem duvida, mudar a opinião italiana sobre a invenciblidade do outro associado do «eixo». A Italia começaria, então, a olhar sómente para seus proprios interesses e surgiriam possibilidades para a diplomacia britannica offerecer a Italia um accôrdo em separado, que o sr. Mussolini não deixaria de tomar em consideração.

## De Litvinoff a Molotov

O nome de Maxim Litvinov, do homem que, por longos anos foi o diplomata perfeito da Russia na Europa, já soa assim como uma palavra de sabor antigo, a que o tempo tirou a acepção brilhante e a que a imaginação agora empresta um significado ainda maior e mais majestoso do que o senhor que chegou a ter na vida palpitante de todos os dias, até uns quinze mezes passados.

Litvinov não foi um diplomata sem segundas intenções e sem tortuosidades. Homem de grande tacto e de intelligencia arguta, habituado ás manobras subterraneas dos revolucionarios profissionaes e afeito ás precauções meticulosas dos que parecem delinquir mesmo praticando boas acções, o antigo ministro do exterior do Kolcheismo andou conferenciando em quasi todas as capitais da Europa, e mesmo nos Estados Unidos: tudo o que ele fazia assumia o ar de conspiração: é como ele trabalhava para a paz a convição que deixava na gente era a de que estava «conspirando» a favor da paz.

No seu tempo a paz era concebida realmente como «paz» isto é, como situação inter nacional sem atritos e de interesses harmonicos — não porque isso constituisse a finalidade ultima dos russos, mas porque tal condição convinha a obra de consolidação interna do regime chefiado pelo «czar» Stálin. Tudo o que não fosse paz perturbaria o trabalho de unificação comésica do país comunista. Havendo quem quizesse embaracar a referida unificação, por meio de recursos da diplomacia secreta, Litvinov conspirava contra as iniciativas ameaçadoras.

Durante a fase da sua presença, na pasta do exterior da U. R. S. S., a sua nação, que tinha por inimigos todos os governos da terra, conseguiu manter-se a salvo de agressões e de despresígio; a paz fortaleceu-o.

Quando o fortalecimento atingiu o grau que o Kremlin considerou suficiente, Litvinov foi posto á margem.

Deixou o comando da policia externa da Russia, que seguiu diretrizes mais ou menos anglófilas, precisamente nas vésperas da invação da Polonia pelos alemães. Seu lugar foi entregue a Molotov e Molotov substituiu a policia da paz pela politica da neutralidade vigilante, ou seja, pelo principio do aproveitamento rápido das oportunidades que a luta entre outras potências abrisse ás aspirações comunistas. Esta politica está colocando, sob o centro de Stálin cerca de 400.000 quilómetros de terra e perto de 24.000.000 de almas. (Vejase, a tal proposito, a nossa noti intitulada «A Expansão Soviética», de 24 de julho de 1940).

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» É FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» DA POLONEZA

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

## 家庭

### 東洋の頭を悩ます 英佛蘭植民地問題 (上)

#### 日本の「關心」を持つ所以は?

佛國の單獨講和で英國もいよ〳〵狼狽し

#### 眞劍に

起ち上らねばならなくなつた。國家總動員法の彈化によつて、自由を喪失した自由主義國家に對して相手方のドイツは手を叩いて嗤つて居る、「英國はデモクラシーを擁護すると云つて戰爭をはじめたのではないか」その英國が敗殘の危機に立つと、すぐ我が方の眞似をはじめた。然しその眞似事の戰爭經濟組織を完成したときにはデモクラシーがなくなる時、即ち戰爭目標の消滅した時であり、同時に英國も採殺される時だ、と云ふのである。敵の武器を奪つてその喉元に擬するあたり、流石に鮮かな宣傳だが、さてこれに對して聯合國側はどう反應するか、世界中くまなく通信網を張りめぐらし、宣傳戰ではいつもその矢面に立つ國なからしめて居る英國であるが、どうも、こう敗けて「聯合軍」が「英軍」一つになつてしまつては宣傳だけの威力では何んともならぬらしい、佛國の單獨

#### 講和說

を初めの程は「あれはドイツの英佛離間宣傳だ」と云つてゐたが、とう〳〵今日の狀態になつてしまつた。英國にして自國の滅亡を賭してお隣を救援すべきかどうかと算盤を彈いて、積極救援を手控へにするやうになつてはもうおしまひだ。獨英いづれが勝つとも日本はやらねばならぬことが累積することだけは覺悟すべきで、不介入方針にしてもボカンと眺めてゐる譯ではあるまい。日本の外交こそ、八方塞がりどころか今や、四通八達の世界的十字路に躍り出したのだ。國内體制の整備を了り、支那事變に目鼻をつけたならば、手に唾して世界外交のイニシアチーヴがとれる。毛利征伐の途上、馬を返して天王山に據つた秀吉の機略を思ふべく、とにかく是が非でも世界外交の天王山に據るべき時であり、支那もまた日本とともにこの

#### 天王山

に立つて百年の大計を決すべき秋であらうこれは文字通りの行動を孕んだ壯烈たる戰爭であり、爾後の手はいくらでも打てる、支那とともに、この世界外交の天王山に物を云はせて、新アジア建設の道をいそぐべく、遲れたらこんな千載一遇の機會は永遠に來まい。貴族、金持と別世界の國イギリスでさへ、首相チャーチルはもう個人財産のごときは顧慮しないと云ひ切つた。スカンヂナヴィヤを矢ひ、陽、白をとられ、佛國に單獨講和されてしまつた今日、孤立の戰爭意識も極端馬鹿に及ばざる感はあるが、それにしても國が國だけに漢石と云ふべきであり日本ではどの首相も諸勢力の壓衝にのみとらはれて、戰時體制は未だにぐる〳〵廻りをしてゐる。これでは狂瀾怒濤を乘り切り得る新體制の生れるはずなく、せめて確固たる方向指示が出來る

#### 首相が

おどり出さなければ、いつまでたつても納まりはつくまいし、そのうちには新らしい世界の夜が明けてしまふではないか

## お子さんを惡くする間違つた躾け方 (上)

#### すぐ褒めたり貶したりしませんか

銀といふものは、わが子可愛さのあまり、すぐに褒めたり貶したりしてみるものですが、これ程間違つた躾方はありません。子供は褒められゝば悦びます、新しい勇気と興味をもつて來るでしようが、然しそれがいつもの事になりますと知らず〳〵の裡に我儘でかくれてやらうといふ、何事も貶されたさにやらうといふ、さもしい根性をもつ樣になります、其上褒められなければ不滿を抱いて、しまひには自棄を起さないとも限りません、さうかと云つて、子供を貶してみても、決して良い調のものではありません、何時も貶したり賞めて見たりしてゐては、何時の間にか、其の子に劣等感を抱かせる樣になり、何事も消極的な陰性な子供にしてしまひます、其故大切な事は褒めたり貶したりする前に「出來たね」と先づ認めてやる事でございます、子供と云ふものは自分のやつた事を認められたのが、本當に嬉しいのです褒められる事も、貶される事も期待はしてゐないのです認めて貰ひたいと思んでゐる事は事實です、ですから先づ「出來たね」「やれたね」と認めてやつて其れから褒めてやつてい、場合は褒めてやり、訂正していい場合は訂正してやるといふ樣にしたいものです、例へば子供が繪を描いたとします「母さん見て頂戴」と云はれる其場合見るなり「うまく描けたね」とか、「これはもう少しだね」とかそんな言ひ方をするのはよくありません「描けたね」と一先づ認めてやつてから、松の木の幹が細過ぎれば「もう少し太ければ木登りも出來るのにね」とかおそらく男の子ならにこりとするでしよう「葉の色がも少し青みがかつてゐる方がいゝことはない?」といふ風に、話合つてゆくのがよいのです、かへつて子供は自分のやつた事に反省をもち更に身を入て精進する樣になるものです

#### 間違を見つけるなり、すぐ直さうゞはしませんか

子供は良く間違ひをやります其れが本當なので、子供といふものは、其間違ひを訂正しながら立派に出來上つて行くのであります、ですから間違ひを頭から責めるのは、大きな間違ひのもとです、其よりは、其の間違ひをどんなように生かそうかと云ふところに親の上手下手があるのであります、一体親といふものは子供の間違ひを見つけると、すぐに訂正してやらうとします、これが親心といふものですが、本當に我子を立派な人物に育て上ようといふのなら、子供の間違ひは子供自身に發見させ本人の手で訂正させる事が大切なのです、少く共子供自身が其間違ひに氣がつく迄、ぢつと待つてやるだけの忍耐が本當の親といふものであります、例へば學校が學校に行つて撒任の先生にお會ひした時「先生宅の子供にどこか良くない點がございましたらお敎へ下さい」と聞きたがるものです、然しこれを本氣で言つてゐるのなら誠に不見識な事であり、謙遜のつもりで言つてゐるのなら誠に無意義な事です、せめて先生に會つた時なりと先生宅の子供はしつかりやつてゐましようか、宅ではあれで仲々弟妹達にも親切でございまして!」と我が子の長所とりえを先生に聽いて貰つて悦んで歸くと云ふ事がありません

### 奥の手帳

#### 洋服用レインコートの手入法

洋服用レインコートを濡れたまゝ帽子かけ等に吊しておくと、地質をいためますから、必ず洋服かけにて乾かします。そしてゴム引以外品は當布の上から輕くアイロンをかけてしまひます。長くしまつて置く時は防蟲ヘ片粉かテンカ粉等をバットふりかけてしまつておきますと、決してゴムが密着して破れる樣な事がありません

## 世紀の英雄 (七) 銃と鋤と (七)

(繼續) 番 伸二 (上)
夏目 (上)

飲酒癖はこの松花江沿岸の農民の高粱によつておられてゐた。フウシヤテンのマトウから十二白噸程の蒸汽船で下つて行くと、この高粱の線の波の彼方に老山頭やその他の山々を眺めたものである。然し今日では、沿岸に添つては高粱はもることが出來ない、それは何故か!

丈なす高粱は盜賊が隠れ家にし、高粱畑にかくれてゐて蒸汽船を襲ふからである。高粱畑を刈るのは松花江の沿岸だけではなく、北支の戰線に通ずる支那各地の鐵道沿線の高粱は矢張り刈りとられてゐる。これも亦同じやうな意味合からであらう

松花江沿岸に添つて高粱畑を刈つて警戒するのは勿論だが、この松花江大鐵橋の警戒は殊に厳しく、撮影スケッチ共に禁じてゐるのだ。それを何處の風のものであらうかこゝでカメラをいぢつてゐるのは一塚田源太郎は、きびしい顔でその外人の方へ寄つて行つた。だがそれより先き、外人は既に微笑しながら「失礼しました。あまり貴方が新二人が風景にぴつたりする仲良さだもので、カメラに入れさして貰ひました」

松花江と感、そんな題名を付けたいと思ふ面でしたね」と流暢な英語で話しかけるだが、源太郎はそんな甘い言葉にごまかされはしなかつた「こゝは、カメラを持つては入つてはいけない區域なのを御存知ないのですか?」「カメラを持つて入つてはいけない? 何故です?」「あの鐵橋が撮影禁止物ですよ」「あいさうですか。では御心配ありません。わたしは貴方方をとつたのでは鐵橋をとつた憶へはありませんから」

治子は、このやうに源太郎とその外人が話してゐる間外人の容貌を一生懸命考へてゐた。何處かでみたことのあるんですがね。そこは日本から來た者達での農業地なのです、そこまで來ますか?」「まあ、では、内地の移民さんですか」

「はゝ、今度は貴嬢がおどろいたな。だからさつき言つたやありませんか。僕は白姓だつて」源太郎は高らかに笑つた。その笑ひにつられたやうに彼女も白い揃つた歯をみせて、笑つた

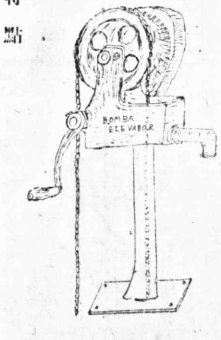
「で、移民地へ來ますか?」「つれて行つて下さいます?」「御案内しましう。御案内してから貴嬢の身の振り方を考へてもいゝ、ところで船で行きたいのですが、うつかり行くと奴等に發見されるおそれがありますからね

なにしろハルビンから逃げるとすれば、貨車か川蒸汽で、乞食と鐵を張つてゐるに相違ない」

と、言つてゐる彼方に、兩輪船の川蒸汽がゆるやかな姿で水を蹴つて來るではないか

松花江はいつの間にか夕闇にしのび寄られてゐる

ポンプ—エレバドール



特點
(1) 何んなに深い井戸でも輕く然る普通のポンプの數倍の水が揚ります
(2) 堅牢、破損することが殆んどない修繕する必要は無く水い年月には鎖に付いてゐるゴム輪を取替へる位です
(3) 高いようで安いポンプは他にありません

価格 一臺 五〇〇圓

出巾の節は當部に來られて實物を御覧になつて下さい

時報商事部
地方取次所 サンス、マリリア 時報支社

自宅で自製の マンジョカのラスパ

小麥粉に混ぜる國内消費のパン粉用としてマンジョカのラスパは幾らでも消費されます。三瀧式マンジョカ切斷機で作つたラスパは日光乾燥で僅か二日で立派なものが出來ます。製粉會社で此のラスパを運賃袋持K三百レースで幾らでも買入れます家庭副業として此位有利なものはありません詳しい事は御問合せ下さい

三瀧式切斷機 一臺 四十五圓

日本人一手販賣元
時報商事部
地方取次所 サンス、マリリア 時報支社 プ・プルデンテ

YAMASHITA LINE
山下汽船株式會社
往航 極東 — 紐育 — 南米 — 定期路
復航 南米 — ニューオルレアンス — 羅府 — 極東
太平洋岸、フイリピン行貨物輸送引受ケ候
船物輕 萬噸 新造優秀貨物船 壹萬噸型
使用船
山風丸 往 八月廿五日頃 復 九月十日頃
山霧丸 往 十月廿日頃 復 十一月十日頃
南滿丸
山彦丸 往 九月二十日頃 復 十月六日頃
山里丸
山浦丸
サントス市 JOHNSON LINE AGENCIES
Praça da Republica 22 Telephone 4694 e 5107 Santos
聖市 L. FIGUEIREDO & CIA.
Rua Libero Badaró, 92 - Phone 2-7125 - S. Paulo
詳細は左記弊社代理店にお問合せ下され度候
(貨物船に付き顧客運送は勝手乍ら御斷り申上候)